



【潜水艦隊司令官挨拶】

海将 高島 辰彦



昨年12月に第23代潜水艦隊司令官を拝命しました高島です。横須賀水交會の皆様には常日頃から温かなご支援を賜り、潜水艦部隊を代表し厚く御礼申し上げます。

前回の横須賀そして潜水艦勤務は7年前の第2潜水艦群司令ですが、在任中に22大綱が決定、潜水艦の増勢方針が示され、人材確保や基地機能の強化の検討を行い始めた時期でもありました。当時の検討でも横須賀は部隊収容力の点等からより対策が

必要であるという判断をしており、実際にも比較的余力のある呉から開始いたしました。この3月の「せいりゆう」就役をもって横須賀の潜水艦も増勢が始まり、現在横須賀8隻、呉10隻（その他に練習潜水艦2隻）の18隻体制となっております。旧市営岸壁地区の工事も更なる増勢に向けて順調に進んでいることを合わせまして、これまでの間現役として、OBとして尽力していただいた皆様にご報告させていただきます。大綱に示されております22隻に向け引き続きご協力をお願いいたします。さて我が国周辺の安全保障環境は皆様ご承知のとおり悪化を続け、残念ながら東アジアは世界中の国々の注目を最も集めている地域と断言できる状況にあります。景気は確実に回復しているとはいえず、引き続き厳しい

発行 平成30年4月11日(水)  
編集 横須賀水交會事務局

財政状況、さらに厳しくなる募集状況ではありますが、特別な能力を有する潜水艦部隊に対する期待あるいは要求はさらに高まっていると認識しています。去る3月18日には「うずしお」が最高指揮官たる安倍内閣総理大臣の視察を受けました。このような環境を受け私の指導方針は「圧倒」と「継続」としていきます。「圧倒」とは精強さ等によって達成を要求する相対的な能力の程度を示しています。単なる優勢ではなく、相手を寄せ付けないレベルの強さ、我が損耗することなく相手を撃破すること、それが潜水艦部隊に対する期待に応えるために必要であると考えています。またこの環境はまだ当面の間は続くと思積もられることから、現在の自分の配置を超えた時間軸をもって「圧倒」を達成しかつ維持するため「継続」についても意識させていきます。もちろん現状は楽

横須賀水交會主要行事予定

平成30年10月までの主要行事予定は、次のとおりです。なお、最新の情報は横須賀水交會ホームページ(<http://y-saikoukai.daa.jp/>)より御確認下さい。

- 1 馬門山海軍墓地墓前祭
  - (1) 期日 5月12日(土)
  - (2) 場所 馬門山海軍墓地
- 2 練習艦隊入港歓迎行事
  - (1) 期日 5月12日(土)
  - (2) 場所 横須賀逸見岸壁
- 3 海軍の碑記念行事
  - (1) 期日 5月27日(日)
  - (2) 場所 ヴェルニー公園
- 4 第36回ゴルフコンペ
  - (1) 期日 6月4日(月)
  - (2) 場所 鹿野山ゴルフ倶楽部
- 5 27年度総会・講演会・懇親会
  - (1) 期日 6月1日(金)
  - (2) 場所 よこすか平安閣 6F
- 6 靖国神社月例参拝等
  - (1) 期日 6月21日(木)
  - (2) 場所 靖国神社
- 7 横須賀夏期防衛講座
  - (1) 期日 計画中
  - (2) 場所 計画中

観できる状況ではありません。特に生活環境の厳しい潜水艦に所要の能力を持った人材をより多く供給し続けることは好景気下における少子化が進む中では大きな挑戦です。我々が外に對し魅力として発信できることはその任務の重要性、日本の大小の企業が100年の経験の下総力を挙げて作り上げた結晶を預けられ、これも100年の日本そして同盟国の先輩方によって蓄積されたノウハウをもって運用していること、志を共有する仲間に囲まれて勤務すること等です。昨今潜水艦のメディアへの露出が増えておりますが、取材側の視点も単なる物珍しさではなく、より潜水艦の本質を掘り下げようとするものに変わってきており、このような環境に共鳴する若者が増える日本になることを期待して止みません。

最後に横須賀水交會の益々の御隆盛、御発展をお祈りするとともに引き続きの御協力をお願い申し上げます。

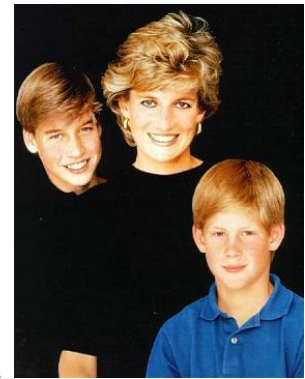
【投稿】  
「英国の女性達」

佐野 恭子



31年前、日英協会主催の会で故ダイアナ妃に握手賜った。チャールズ殿下と不仲のお噂が流れていた。お手は大きく骨ばっていて冷たい。灰色がかった青い大きな瞳は苦しそうで何かを求めておいでのようだった。今なら「立派な、お二人の王子の母上として尊敬しています！」と励まして差し上げよう。どの写真もダイアナ妃が楽しそうで生き生きとした表情をされるのが2人の王子と御一緒の時で、母というかけがえのない存在であるとき、すべての女は誰もが心の底から輝く。長身で金髪、何千もの真珠を縫い付けたジャケットの時も、地雷原を透明なプロテクション1つでも歩いて

いく綿パン姿の時も本当に美しい方だった。



有名なロンドンのバスは2階建て、2階に乗って英国の政治の中心ウエストミンスターを下すると、テムズが光り、ビッグベンが遠く見えるあたりにホースガードと呼ばれる馬があり、その入り口の左右に大きな馬に乗った絵葉書でお馴染みの兵隊が白い番小屋で睨みを利かせている。



さらに南下して首相官邸のあるダウニング街辺り、背の高いプラタナスの樹影が落ちる道路の真ん中に大きいコンクリート

製の10枚のコートが掛かった像がある。「第二次世界大戦中に英国女性の着たもの」で消防服、潜水服、飛行服、つなぎ、塹壕のトレンチコート。第2次世界大戦にエリザベス2世陛下自身も、軍用トラックのハンドルを握られたし、アン王女は皇室の式典で常に軍装で女王に付き添っている。陸軍・海軍クラブで最初の女性軍人トップの写真を見たので再訪時に聞きたい。その陸軍・海軍クラブの朝食で見た中年―老年のご夫妻達の暖かで自然な「自分たちの意思で結婚し、風雪に耐えた絆」はとても羨ましかった。

英国女性の独立心と冒険心の大きさはとてつもない。エベレスト登頂が日本男子を先んじ、江戸末期に起きた「生麦事件」の起因の一つが騎馬でピクニックの英国人達に女性が一人加わっていた事だと私は思っているが彼女は当然アフリカ南端を回って来た。1600年頃は関ヶ原の戦いとエリザベス1世の治世だ。シェイクスピアやトマスモ



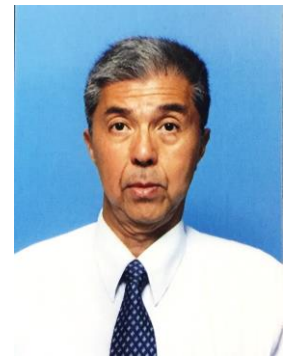
ア、スペインの無敵艦隊を破り世界一周したドレイク船長がいた。日露戦争直前1901年に亡くなったヴィクトリア女王は日の沈まない帝国として世界に君臨した。夫君アルバート公記念塔の四隅はラクダ・ゾウ・バツファロー(アメリカ大陸)牝牛(ヨーロッパ)の彫像がある。サッチャー首相が現れる前、8年前に、夫と私は幼い子供2人とマンチェスターで過ごした。当時の英国は非常に貧しかった。裏地が擦り切れて全くなくなった古い子供のコートが10P(ペンス、今の為替で15円)で流通し、子供は全員がナイロンを着て痩せていた。鉄の女と言われた彼女の英断で英国は金融国家として再度世界に君臨した。フオークランド紛争という軍事にも強かった。そして今日、メイ首相の下でEUから脱退するという蛮勇とさえ言える事を進めている。

一方で、こんなことがあった。私は昨秋ロンドンのピカデリー広場でバスを待った。バス停の

屋根の下に素早く入りながら「このバスはオクスフォードサーカスに行きますか」と私と同じ年位の上品で穏やかな婦人に聞いた。彼女は笑顔で「この停留所に来るすべてのバスは、行きますよ」と言った。その時、私は、彼女が認知症らしい70代の夫君がよろけないよう支えていたことに気付いた。私はご夫婦の間をすり抜けてしまったのだ。インテリの英国紳士であったろう夫君が言葉もなくそっと彼女に頼っているのを見た。バスが来てシルバースーツに座った彼女は別れ際「乗り換えてパービカンに行くなら、交差点の右方向で待つよ、コンサート楽しんでね!」と笑顔で声をかけて呉れた。



「横須賀水交會忘年懇親會に参加して」 有志会員 横山 恵一



一般会員の横山恵一と申します。一般会員になり5年が過ぎようとしています。水交會入会のきっかけは、元海上自衛隊掃海隊群司令であられた徳丸伸一様との出会いです。私は、横須賀市役所に在籍し、現在は、横須賀教育隊の隣の西行政センターにおいて施設管理を担当しています。普段は、周りは建築士ばかりの中での勤務ですが、幸運にも船越の庁舎で徳丸様と出会いました。たまたま、県立横須賀高等学校の同期であることがわかり、気さくにお話をなされ、横須賀水交會入會に当たり、徳丸様が私の推薦人になっても良いという事でした。結局は、当時演習等でお忙しかったため、

横須賀水交會の事務局長様にお話ししたところ、徳丸様の御上司だったこともあり、事務局長様が推薦人になって頂きました。横須賀市役所での勤務において、浦賀風致地区の許認可に係ったことがありました。その際、防衛大学校と係りはありましたが、海上自衛隊との係りはありませんでした。

しかしながら、自分の心の中で「市役所の人間なのに、自衛隊の活動のことをなぜ知らないのか。」という単純な思いが膨れ「機会があれば、海上自衛隊の事を、国防の事を勉強しよう。」という気持ちが高まってきました。

入會後、厚木基地(PC-1)、横須賀逸見岸壁(護衛艦「いずも」等で行われた部隊研修や靖国神社月例参拝に積極的に参加するとともに、水交會本部主催の村川海上幕僚長、杉山航空幕僚長の講演会及び横須賀水交會の總會等への参加を経て、改めて、国民の一人一人が国際政治論・国際関係論・軍事学等の重

要性を認識すべきという考えに至っています。

今回、初めて幹事会の忘年懇親会に参加させて頂き、誠に光栄と感じております。

一般会員は今回、後藤様、吉沢様と3人でしたが、会話も弾み、楽しい時を過ごさせて頂きました。



また、懇親会等で気さくにお声をかけて頂いている、道家副会長様からは、横須賀海洋少年団のお話を皮切りに、道家副会長様は、防衛大学のヨット部の主将(スナイプ級)、私は筑波大のヨット部(470級)であったことなどから、大好きなヨット談義も加わり、つつい杯が進みました。

2次会では、松崎顧問様からイラクのクウェート侵攻のお話や、横須賀地方隊香月先任伍長

様、自衛艦隊小瀧先任伍長様からも、北の緊迫した情勢の中で、さぞお疲れでしょうが、貴重なお話を聞いたのは、財産になると感じています。

今後、多くの市民が、自衛隊の方々の、なみなみならぬご苦労等を認識するとともに、海軍の残した遺構を未来の方々に伝えていくことが、平和な日本を支える上で重要であると考えます。

このようなきっかけを作って頂けるのが、水交会の役割の一つと考えます。海上自衛隊の現役及びOBの方々の今後のご活躍をお祈りいたします。



スナイプ級



470級

「艦船鉛筆画の奉納活動」  
有志会員 菅野 泰紀



鉛筆艦船画家 菅野 泰紀でございます。

今に至るまで、私は、描いた鉛筆艦船画を艦内神社の分霊元へ奉納する活動を地道に続けております。私が初めて軍艦を知ったのは、小学校低学年のころでした。父から戦艦大和の誕生から終焉までの話を聞き、子ども心に大きな衝撃を受けました。さらに祖父や祖母の戦争経験談を通じ、一層、祖父母や曾祖母が過ごした時代への興味を抱きました。

6年前に大阪で開催した最初の個展が、本格的に艦船の絵を描く契機になりました。そして、奉納が活動の軸となったきっかけは、平成25年7月の靖國神

社の「みたままつり」への雪洞(ぼんぼり)揮毫奉納でした。また檀原神宮で航空母艦瑞鶴の戦没者・物故者慰霊祭が毎年斎行されていることを知り、同社への奉納が皮切りとなり以後各地の艦内神社分霊元への奉納活動が始まりました。

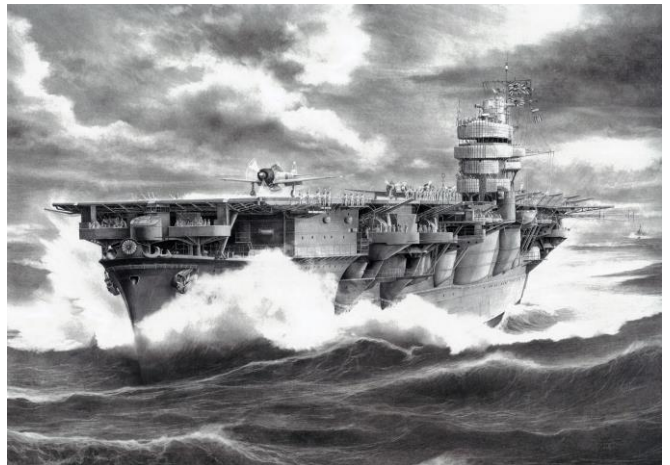
明治以降、日本は多数の艦艇を保有しました。それら艦内には神社が鎮座しました。航海の安全と武運長久を祈って祀られた艦内神社は、祖国を離れて任務につく兵士たちにとって、祖国と自分たちをつなぐ「絆」と呼べる大切な存在でした。激戦の中で沈んだ艦内神社は、戦後神社が置かれた過酷な状況もあり、今日まで然るべきお慰めが行われず忘れ去られつつありました。しかし昨今、一部の学者や研究家の努力で、忘れ去られていたその「絆」が再び日の光を見るようになりました。そしてそれが契機となり、艦艇の慰霊顕彰祭がその分霊元で斎行される動きもあり、そこで私もその機会に合わせて絵画奉納をす



ることが増えて参りました。私が鉛筆艦船画を奉納しても御神霊の帰還は叶いません。しかしこの活動で、海底の艦内神社と分霊元神社との「絆」を、目に見える形で後世に伝える一助にはなれると信じています。

奉納した絵は、軍艦乗組員の慰霊顕彰祭などでも掲げていただくことも多く、参列されたご遺族や関係者が、英霊たちと艦に純粹に思いを馳せ、誇りに思ってもらえるよう、私は強い使命感を持ち、これからもその姿を描き続けていく所存です。

今後も奉納活動はもちろん、国の枠組みを越え、かつて全力で戦った日米を公平に扱った展示会を開催し、日米の英霊の慰霊顕彰をしたいという夢もあります。また、帝国海軍からの歴史・伝統・精神を受け継ぎ、日々日本を守るために尽力する海上自衛隊の応援にも絵を通じ協力していきたいと願っております。どうか応援を、よろしくお願ひ申し上げます。



「横須賀市政報告」

市議会議長・幹事 木下憲司



1 災害時の、横須賀市と自衛隊との家族支援協定

11月15日、横須賀市と市内所在陸海空自衛隊の間で、災害時の家族支援に関する協定が締結されました。かねてから、東日本大震災などの大規模災害に派出される隊員のうち、共働き自衛官などの、両親がともに派出された場合、その子供の保護が課題となっていました。そのような場合、この協定は、自衛隊において保護施設が独自に開設されるとしても、地元自治体として可能な範囲で、それを支援するということです。このような準備態勢により、隊員は後顧の憂いなく任務に従事できます。そして、このような対応は、自衛隊所在自治体の行政サービス

として、幅の広い福祉施策の一つとして、位置づけられると考えます。

2 国道357号国交省要望 (29・9・25)

9月25日、上地市長とともに国交省を訪れ、秋元副大臣に対し、国道357号線の、①八景島〜夏島 間の早期工事着手②夏島町以南の計画の早期具体化を要望しました。国道357号の延伸は本市にとって重要な課題であり、近年事業の進捗が滞っていることから、地元選出の小泉衆議院議員、古屋衆議院議員、とともに要望活動に赴いた次第です。副大臣からは前向きな回答を得ることができ、工事着手がすでに始まりました。



【参加行事等紹介】

1 第27次派遣海賊対処行動  
水上部隊第6護衛隊護衛艦  
「てるづき」帰国行事に参加

10月1日(日)、抜けるような  
青空のもと、ソマリア沖及びア  
デン湾において、第27次派遣海  
賊対処行動に従事していた水上  
部隊(派遣部隊指揮官 第6護衛  
隊司令 近藤 匡(こんどう  
まさし) 1等海佐)の護衛艦「て  
るづき」(艦長 橋本 聖一(は  
しもと せいいち) 2等海佐)が  
任務を終えて、横須賀に入港、  
帰国しました。

今年3月出港、4月18日から  
現地での護衛活動を行い、8月30  
日に任務を終了、「あまぎり」と  
交代し、この度帰国したもので  
す。

道満 誠一横須賀地方総監執  
行による帰国行事は、横須賀基  
地において10時40分から開始  
となり、上地 克明横須賀市長、  
亀井 たかつぐ神奈川県議会議  
員、木下 憲司横須賀市議会議

長、岩並 秀一海上保安庁海上  
保安監ほか各部隊指揮官、隊員、  
家族など約500名が参列しま  
した。横須賀水交會も中尾会長  
ほか多くの会員が参加し、自衛  
艦旗小旗、水交會旗を掲げて出  
迎えました。



帰国報告の後、「てるづき」

にとつては、初めての派遣です  
が見事に任務を完遂しました。  
防衛大臣としても大変誇りに思  
う。」との防衛大臣訓示(横須賀  
地方総監代読)があり、自衛艦  
隊司令官訓示では「諸官には、  
今回の任務で自ら果たした役割

と成果に誇りと自信を持ち、今  
後の任務の資として更に邁進し、  
光り輝くことを強く希望する。」  
とありました。乗員の逞しく、  
凛々しい態度は、任務を完遂し  
た誇りに満ちており、頼もしい  
限りでした。



公表された資料によると、護

衛艦「てるづき」は、16回の直  
接護衛(護衛依頼のあった特定  
船舶の護衛)、100日間のゾー  
ンディフェンス(特定の海域の  
警戒監視)を行いました。8月26  
日にはソマリア沖及びアデン湾

での海上警備行動に基づく護衛  
開始(2009年3月)以来、  
通算800回の直接護衛を達成  
し、通算護衛隻数も3927隻  
にのぼり、その成果は国際的に  
も高く評価され、関係船舶から  
は格別の感謝をされています。  
また、ゾーンディフェンス実施  
中の護衛艦「てるづき」は、6  
月21日、アデン湾西部において、  
漂流中のソマリア漁船を発見、  
救助、曳航し、ソマリア側に引  
き渡しました。その際、海上自  
衛隊の福田 達也將補が指揮官  
を務めている第151連合任務  
部隊司令部と緊密に連携し当該  
事案に対応しました。

海賊対処は、長期間にわたる  
任務遂行であり、厳しい環境条  
件のもとでの緊張は計り知れな  
いことと考えます。国際的な責  
務を果たし、国益に寄与した指  
揮官及び乗員各位に対して、深  
甚の感謝と敬意を払います。乗  
組員の皆様には、短期間かと思  
いますが、休養され英気を養っ  
てくださるようお願いいたします。

(石井 順 幹事 記)



2 平成29年度横須賀水交會  
部隊研修

10月5日(木) 秋らしい薄曇り  
りで過ごしやすい気候のなか、  
平成29年度横須賀水交會部隊研  
修が行われました。

研修部隊は護衛艦「いずも」  
であり、注目の高さから、参加  
者は約160名、担当役員が受  
付の準備をする途中から訪れた  
会員もいました。

護衛艦「いずも」は平成27年  
3月25日就役。基準排水量19、  
500トン、全長248メートル



ル、機関はガスタービン4基11  
万2千馬力です。海上自衛隊最  
大の護衛艦の一番艦です。  
「いずも」の格納庫において、  
参加者総員に対し、第1護衛隊  
群司令(八木 浩二 海将補)  
から挨拶を頂き、研修参加者は  
六個班に分かれ、それぞれ計画  
されたスケジュールに基づき研  
修が開始されました。



多目的区画においてのブリー  
フィングでは、護衛艦「いずも」  
の概要、海上自衛隊等の組織・  
編成、海軍時代の「出雲」から  
海自「いずも」の歴史、米艦艇  
との比較、災害派遣における実  
績等パワーポイントを用いて、  
わかりやすく説明をして頂きま  
した。

艦橋、航空管制室、飛行甲板、  
医務区画を乗員の方から案内及  
び説明をして頂き、また、基本  
的な事から、専門的な事に至る  
様々な質問に対しても丁寧に回  
答して頂きました。



研修終了後、よこすか平安閣  
において、御世話になった第1  
護衛隊群司令、第1護衛隊司令  
(渡邊 雄一 1等海佐)、「い  
ずも」艦長(甲斐 義博 1等  
海佐)、先任伍長他7名の御同席  
を得て、和気藹々とした雰囲気  
の中で懇親会が開催されました。  
参加者は、約120名でした。

中尾会長の挨拶に続き、第1  
護衛隊群司令からは「海上自衛  
隊をよく知る皆様に我々の現状  
を理解して頂いてかつ励まし  
の言葉を頂くことは、我々にとつ  
て大変励みになります。」との挨  
拶を頂き、「いずも」艦長の乾杯  
の発声で幕を開きました。護衛  
艦「いずも」の大きさ、装備等  
について、また、会員同士再会  
を祝し会話に花が咲きました。  
後半では、恒例のゲーム大会が  
催され、「いずも」提供のグッズ  
獲得を目指し大いに盛り上がり  
ました。キャップを獲得した会  
員の中には、うれしさのあまり  
帰る頃までかぶっていた方もい  
ました。

道家副会長の中締めで、横須賀水交会部隊研修は、参加会員の満足を得て十分に目的を果たし成功裏に幕を閉じました。

今回の部隊研修は業務多忙にも関わらず御協力を頂いた第1護衛隊群第1護衛隊護衛艦「いずも」の御配慮により、実現したものであり、ご尽力頂いた関係各位に改めて深く感謝します。

(石井 順 幹事 記)



### 3 平成29年度練習艦隊 帰国行事参加

#### 帰国行事参加

11月1日(水)、巻積雲が見られる秋空の下、海上自衛隊横須賀基地逸見岸壁において、平成29年度遠洋練習航海派遣部隊(練習艦隊司令官 眞鍋 浩司 海将補 以下実習幹部184名を含む約580名)の帰国行事が行われました。(執行者 横須賀地方総監 道満誠一 海将)

練習艦隊は、練習艦「かしま」(艦長 堀川雄司 1等海佐)、護衛艦「はるさめ」(艦長 樋ノ口和隆 2等海佐)の2隻であり、練習艦隊司令官 眞鍋海将補をはじめ、司令部要員・各艦艦長・乗員・実習幹部の無事の帰国を待ちわびた大勢の隊員家族らが出迎えました。

横須賀水交会からも中尾会長をはじめ約30名の会員が無事帰国を祝し、横須賀入港を歓迎するとともに乗員の激励を行いました。

10時15分から横須賀音楽隊の演奏に合わせて実習幹部、乗員、練習艦隊司令官、各艦長が

整列し、10時30分から帰国行事が開始されました。

帰国行事では、各省庁の代表及び実習幹部・乗員の家族等などのほか、村川豊海上幕僚長や道満横須賀地方総監をはじめ、各級指揮官等多くの隊員、国会議員をはじめ上地克明横須賀市長、木下憲司市議会議長等の来賓、各支援団体関係者ら多くの方が見守る中、眞鍋練習艦隊司令官が村川海上幕僚長に遠洋練習航海を無事完遂し、力強く「平成29年度遠洋練習航海終了、人員器材異状なし。」を報告しました。



村川海上幕僚長は、「実習幹部諸君、本日から部隊勤務の第一歩を踏み出すことになる。海上自衛隊の全ての活動の基本が千変万化する海の上であることを肝に銘じ、いかなる配置にあるうとも、海の上を基本とした物の見方、考え方を持ち続けるとともに、今まで築き上げた同期の絆を大切にし、ともに助け合い、切磋琢磨しながら勤務に邁進してもらいたい。」と、訓示をされました。

来賓祝辞は、飯島俊郎外務省総合外交政策局審議官から頂き、来賓紹介、祝電披露そして花束贈呈と続きました。

今次遠航部隊は5月22日(月)に横須賀を出港。以後、太平洋横断、北米、中米、カナダ、ロシア連邦、大韓民国の8か国、13港を歴訪し、164日間約6万1千キロメートルに及ぶ航海を完遂しました。184名(タイ王国海軍少尉1名を含む)の実習幹部は、長期間の外洋航海という慣れない過酷な環境の中で訓練漬けの日々を送り、身心を練



磨し、シーマンシップを養い、初級幹部として必要な技能を習得しました。

式典終了後、実習幹部は、艦上で眞鍋司令官・司令部要員・各艦艦長・乗員と挨拶を交わし退艦した後、改めて岸壁に整列し、艦上に居並ぶ司令官、各艦長ほか、乗員に対して帽振れを行いました。その後、整齊と行進をして艦を離れ、新任地へ赴任して行きました。

今後の各部隊等での活躍を祈念します。

(石井 順 幹事 記)



4 第35横須賀水交会主催

ゴルフコンペ

11月17日(金)、第35回横須賀水交会主催ゴルフコンペを千葉房総半島の南総ヒルズカントリークラブにて開催しました。

当日は、冬季とは思えぬ穏やかな好天にめぐまれかつ、平日で利用者も少なく前後を気にせずスムーズにプレーをすることができ、快適で楽しいコンペを実施することができました。

参加者は中尾誠三会長以下42名でした。

今回の成績は、菊池茂氏が、グロス98、ハンデキャップ26.4、ネット71.6で優勝、2位には吉村研二氏(90、18.0、72.0)が、そして3位は斉藤等氏(99、26.4、72.6)がそれぞれ受賞という結果でした。



優勝：菊池氏



準優勝：吉村氏

優勝された菊池さんは、「色々なコンペに参加しているけれども優勝は初めてです。楽しいゴルフができた」と優勝の弁を述べておられました。

また、ベストグロス賞には、レギュラーの部では幹事の迫幸

一郎氏がグロス87で、ベストグロスウーマンには、斉藤浩子氏がグロス108で、シニアの部では熊谷昭吾氏がグロス76で受賞されました。

なお、今回は賞品をゴルフ場に依頼し、ゴルフグッズ以外にお米、お肉等もあり、賞品を見比べながら各受賞者の発表ごとに歓声が上がりが大いに盛り上がりました。



水交會主催コンペは会員の親睦を目的としたゴルフ大会ですが、水交會会員のみなならず、陸海空自衛隊のOBや友人・知人・家族まで幅を広げて参加者を募り、水交會の活動に理解を深めていただければ幸いです。またこの中から水交會に入会していただければこのコンペの目的を十分に果たすことができますものと考えています。たくさんの方に声をかけて参加者を更に増やしていただくよう今後ともご協力の程よろしくお願ひします。(吉岡俊一幹事 記)

### 5 平成30年横須賀防衛団体 賀詞交歓會

1月13日(土)午後、横須賀地区の防衛関係者にとつては新年の幕開け行事ともなる「平成30年横須賀防衛団体賀詞交歓會」が、横須賀商工会議所多目的大ホールにおいて開催されました。

本会は、防衛関連の9団体(※)が共催し、横須賀地区に在籍する陸海空自衛隊の部隊指揮官・先任伍長、横須賀市長等を招い

て新春の賀詞を交歓するとともに、自衛隊を激励し、併せて、各団体、会員相互の親睦を図ることを目的に毎年実施しているものです。当日は、気温が低かったものの天気は恵まれ、300名を超える関係者が参加しました。

国歌斉唱に続き、共催団体を代表して小山満之助横須賀防衛協会会長から、我が国を取り巻く安全保障環境は極めて厳しい状況にあり、我々防衛各団体は設立の使命に基づき防衛省、自衛隊、防大を陰でしっかりと支えてまいりたいとの決意表明がありました。引き続き、来賓を代表して上地克明横須賀市長及び道満誠一横須賀地方総監から祝辞を頂きました。

来賓紹介では古屋範子衆議院議員、中西健治参議院議員及び三浦信祐参議院議員から力強いご挨拶を頂いた他、神奈川県議会議員・横須賀市議会議員・鎌倉市議会議員の皆様が壇上からお祝いを述べられました。最後にフィリップ・G・ソーヤー米

海軍第7艦隊司令官から大きな声で「ハッピーニューイヤー」という発声があり、会場は一時歓声に包まれました。



鏡開きでは各界を代表する皆様(2組に分かれ2つの四斗樽)を参加者全員の「ヨイショ」の掛け声に合せ、見事に叩き割り、最高の盛り上がりの時を迎えました。

その後、國分良成防衛大学校長の発声により乾杯が行われ、以後、懇談の時間となりました。会場内のあちらこちらで陸海空

自衛官、来賓、自衛隊OB、各団体会員等が和気藹々と懇談する姿が見受けられ、当初の目的である親睦を十分に図ることができました。

楽しい時はあっという間に過ぎ、最後に廣惠次郎陸上自衛隊通信学校長兼ねて久里浜駐屯地司令の万歳三唱により平成30年の賀詞交歓會はお開きとなりました。

道満横須賀地方総監が祝辞で述べられたように、横須賀は、三自衛隊統合を代表する街であり、日米同盟及びその他の国との安全保障協力の拠点ともなっています。これを支える横須賀防衛団体の存在と責任の重さに思いを新たにしたい一日でした。

(石井 順 幹事 記)

※ 横須賀防衛協会、隊友会横須賀支部、横須賀水交會、横須賀曹友会、三笠保存会、自衛隊家族会三浦半島地区会、三浦半島募集相談員会、横須賀海交會及び桜遊會



6 横須賀水交會国会議事堂  
参議院研修

参議院研修

2月15日(木)、春を思わせるような穏やかな気候の中、横須賀水交會会員20名は、靖国神社定例参拝に集まる機会を活用して国会議事堂参議院の研修を行いました。

今回の研修は、宇都隆史参議院議員の支援を得て実現できたものであり、同議員の秘書の方には多忙な中、貴重な時間を割いて対応して頂きました。また、案内を担当して頂いた参議院衛視の方の誠意あふれる態度に一同は深い感銘を受けました。

研修ではまず、本会議が行われる「参議院議場」を見下ろせる3階の傍聴席に案内されました。目の前にはテレビで見覚えのある吹き抜けの歴史ある会議場が広がっていました。衛視の説明によると国会議事堂は、大正9年(1920年)から17年の歳月をかけ、できる限り国産品を使用して完成させたそうです。大正12年の関東大震災発生時は建設中であったため、大き

な被害はなかったそうです。「衆議院議場」との大きな違いは「参議院議場」の正面中央には、開会式の際に天皇陛下が臨席される「御席」が備えられているとのことでした。



「御席」と「本会議場」

次の「御休所(ごきゅうしょ)」は、開会式の当日、陛下がお入りになる部屋であり、内装は檜を用いて本漆塗りになっており、当時の建築技術や工芸の粋を集めて作られたものとのこと。 「御休所前広間」の床には大理石のモザイクが敷き詰められ、天井の天窓にはステンドグラスが入っています。さらに、「御休所」の入り口は、一つの大理石を彫り抜いたものだそうです。



「御休所」へ上る中央階段の、左右の壁や階段も大理石で作られています。それぞれ徳島県産の「時鳥(ほととぎす)」、茨城県産の「茨城白」が使われているとのこと。 昼食は、参議院議員食堂において、事前に手配して頂いた弁当で会食となりましたが、折しも通常国会が開かれている最中であり、議員の姿は見られませんでした。また、食堂のテレビには国会の状況が中継されており、食事中もゆっくりできない議員の皆様に対して少しばかり同情の念が湧いてきました。

今回の研修を通じて、国会議事堂、参議院に対する理解を深めることができるとともに議員にとって戦場とも言える施設の重要性を改めて認識することができ、今回の研修の目的を果たすことができました。

改めて、ご協力頂いた宇都隆史参議院議員を始め、ご尽力頂いた関係各位に深く感謝します。 研修を終えた一行は、水交會主催の月例参拝が行われる靖国神社に向かいました。

(石井 順 幹事 記)



7 横須賀教育隊修業式に

おいて、横須賀水交會から  
 激励賞を授与

横須賀水交會は、平成29年12月19日(火)第127期初任海曹課程、平成30年2月15日(木)第368期練習員課程、第60期練習員(女性)課程及び平成30年3月23日(金)第128期初任海曹課程の修業式において、成績優秀者4名(男性3名、女性1名)に対し、表彰状及び記念品を贈呈しました。

横須賀教育隊の初任海曹課程に対する表彰は、従前から横須賀防衛協会会長賞が授与されてきました。平成26年度からは、横須賀水交會からの激励賞も授与されることとなり、受賞者については、防衛協会会長賞との重複をさけること及び横須賀教育隊の初任海曹課程には全国から選抜された女性も入校していることから、横須賀地方総監部管理部と調整した結果、防衛協会会長賞が男性(女性)の場合、水交會激励賞は女性(男性)へ授与することになりました。

ところが平成28年度から海曹予定者課程が新たに開始され、これまでの初任海曹課程としばらく混在することから、横須賀教育隊との調整により、防衛協会会長賞を海曹予定者課程へ、水交會激励賞を初任海曹課程へ贈呈することになり、第127期及び128期初任海曹課程の中から選考された男性隊員1名に中尾会長から贈呈されました。

また、第366期練習員課程及び第60期練習員(女性)課程については、夏の期間に全国で採用された男性42名、女性45名が、平成29年10月3日自衛官候補生として入隊、横須賀教育隊での厳しい訓練等を無事乗り越え、2月15日に晴れの修業式を迎えたものです。

なお、夏期における女性課程採用は約10年ぶりとのことで、厳しい募集環境を物語っている。今回、次の隊員が表彰されました。

第127期初任海曹課程  
 3等海曹 早稲田 晋也

(わせた しんや)

第368期練習員課程

2等海士 井田 龍二

(いだ りゅうじ)

第60期練習員(女性)課程

2等海士 東 きらり

(ひがし きらり)

第128期初任海曹課程

3等海曹 干場 翔平

(ほしば しょうへい)

今回、表彰された皆様が、部隊において更なる研鑽を積み、海の防人として大きく成長されることを横須賀水交會一同祈念しております。





## 【トピックス】

## 1 横須賀水交會

## 29年度第2回幹事会

平成29年12月13日(水)、横須賀市汐入町にある「ホテルハーバー」において第2回幹事会が行われ、顧問以下約50名が参加しました。

議題、内容については次のとおりでした。

「実施行事の結果」については、「平成29年度部隊研修(護衛艦「いずも」)」、「海賊対処派遣部隊「てるづき」帰国行事」、「練習艦隊帰国行事」、「横須賀水交會ゴルフコンペ」について、各担当幹事から、実施報告がありました。「ゴルフコンペ」については、今後の開催方針及び多くの方に参加して頂き活気あるコンペにしたい旨の報告がありました。練習艦隊に関連しては、中尾会長から、司令官から遠洋練習航海の状況についての手紙を2度ほど頂き、出国前の横須賀水交會主催夕食会に対し、大変感謝している旨の記述があつ

たこと、お土産としてワインを頂いたことの紹介がありました。

「実施予定の行事」では、30年1月13日(土)の「合同賀詞交歓会」及び、2月15日(木)の「靖国神社月例参拝」の実施要領についての報告がありました。靖国月例参拝は、国会議事堂見学もセットとなった初の試みです。

その他、「メールによる会員への情報配布」、「横須賀水交會役員の新の旅」についての討議、及び年始行事の報告が行われました。

「メールによる会員への情報配布」は、横須賀水交會の役員以外の会員から、「行事案内をメールで発信してほしい」という要望に応えるために提案されたものです。実施が承認され、メンバーリストへの登録希望者を、HP上で募集することとなりました。

呉水交會(兼 横須賀水交會)の白川久美一氏から、呉の青山クラブ及び桜松館の保存・活用を求める署名協力のお礼及びそ

の保存・活用を求める提案書が市と市議会に提出された事の報告がありました。青山クラブ及び桜松館は、旧海軍ゆかりの施設であり、青山クラブは、海上自衛隊員の宿泊施設等として利用され、桜松館は、海上自衛隊呉音楽隊の練習拠点として利用されていきました。



会議終了後、同ホテルにおいて、忘年会を兼ねた懇親会が、道満 誠一横須賀地方総監、横須賀市長代理、木下 憲司横須賀市議会議員、小泉 進次郎衆議院議員代理、横須賀地方総監部 経理部長、横須賀地方隊先任伍長、自衛艦隊先任伍長をお

招きし、野口総務幹事の司会の下行われました。

中尾会長から、来年は更に飛躍するよう、頑張りましょうという挨拶がありました。道満横須賀地方総監からの来賓挨拶があり、横須賀水交會からの支援等に対する感謝の言葉ともに、今年の漢字に「北」が選ばれたように安全保障上緊迫した状況の中、現場の隊員は頑張っているという現状を紹介頂きました。自民党筆頭副幹事長 小泉進次郎衆議院議員、外務副大臣 佐藤正久参議院議員、宇都隆史参議院議員からの祝電の紹介の後、松崎顧問の音頭で声高らかに乾杯を行い、懇談に入りました。途中で、練習艦隊司令官と同先任伍長からのお土産(ワイン)の紹介とともに鳥居幹事が横須賀水交會旗を携え、バンクーバーの港まで行き、練習艦隊の入港歓迎、見送りをした事の紹介があり、本人からもエピソード等の披露がありました。来年も遠洋練習航海の迎え見送りを行い、21世紀の「海軍お

「皆さん」を指すとの意思表示があり、会場はさらに盛り上がりました。



一般会員から参加した3名の方々の紹介がありました。今年1年の出来事を振り返り、また、来年の抱負を胸に共に杯をかわし和気藹々のうちに、横須賀地方隊先任伍長 香月信一海曹長の音頭による中締め乾杯となりました。その中で、最近の若い自衛官の中には、「東日本大震災の被災地出身で、当時の自衛隊の活躍に感銘を受け、自身も自衛官になり活躍したい。」というような高い志をもつ

て入隊しているという感動的なエピソードと、「これからは寒くなり、特にお年を召された水交會の皆様はご注意を」という笑いを誘う話もあり、最後まで盛り上がった懇親会は、名残惜しくも閉会となりました。

## 2 靖国神社等月例参拝

2月15日(木)、穏やかな気候の中、恒例の靖国神社参拝が行われました。2月19日、24節気の「雨水」(空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる)です。もうすぐ春が近くまで来ています。

水交會の月例参拝は、旧海軍及び海自OBが主体に行われています。今回の参加者は、旧海軍出身者は兵学校74期の高田忠氏以下、甲飛會、計6名。海自OBは、幹候8期の遠山敬氏以下クラス代表22名、その他有志5名、電子會2名、北海道水交會1名及び水交會本部4名でした。更に横須賀からの参加者21名を加え、61名の大人数の参拝となりました。

今回で水交會月例参拝は、420回となるそうです。今回の横須賀水交會参加者は21名でしたが、今後とも積極的な参加を呼びかけていきたいと思えます。次回は6月ですので、月例参拝の参加及び初回参加者へのお誘い等、皆様のご理解とご協力をお願いします。

徳川宮司からは、「今日は暖かいです。まだ寒い日がある」こと、「靖国神社150周年事業の準備は滞りなく進めています。が、工事の関係で駐車場等ご迷惑をかけている」こと、「神社の防火対策のための消火設備の工事を実施している」とのご挨拶及びお話しを頂きました。



その後、兵学校74期高田氏を総代として、参拝が行われました。

靖国神社参拝終了後、それぞれ徒歩で千鳥ヶ淵戦没者墓苑まで移動しました。気候の良いときは、この移動も気持ちが良いです。千鳥ヶ淵では、(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の方から千鳥ヶ淵戦没者墓苑における年間行事等について説明を受けました。

### ① 国が行う事業

参礼式  
遺骨渡式

### ② 奉仕會が主催する行事

秋季慰靈祭(昨年10月、寛仁親王妃信子殿下が御臨席)

### ③ 各種慰靈団体が行う慰靈行事

### ④ 自衛隊関係

偕行社、水交會の月例参拝  
遠洋練習航海部隊の参拝  
秋季慰靈祭への参加  
防衛大学校学生の参拝

### ⑤ 参拝記念

「栄太郎総本舗」の飴を販売しており、テレビの情報番組





で紹介されてから、売れ行きが良い。  
 参拝終了後、バス3台の支援を得て、防衛省内の自衛隊殉職者慰霊碑に向かいました。到着後、海上幕僚監部人事教育部長(園田直紀 海将補)、厚生課長(石巻義康 1等海佐)、わだつみの会会長の出迎えを受け、慰霊碑前に整列をした後、人事教育部長並びにわだつみ会会長の挨拶を頂き、幹候8期の遠山氏が代表して献花し、慰霊参拝を行いました。



その後、解散となりましたが、横須賀水交会の有志は、クラブ水交での直会に参加しました。いつもより多い22名の方が参加してくださいました。鍋を囲みながら、中尾会長の挨拶から始まり、懇談の途中では、松崎顧問から靖国神社への個人的な思い等のお話を頂き、午前中の国会議事堂参議院研修の話等で盛り上がりました。日が長くなり、春の到来を感じつつ直会は無事終了しました。  
 (大野 慶二 幹事 記)

## 【お知らせ】

### 1 幹事会終了後の懇親会に参加してみませんか!

横須賀水交会では9月、12月及び3月に幹事会を開催しており、終了後には自衛官等をお招きして懇親会(夕食会形式)を実施しております。平成28年度からはこの懇親会に役員以外の会員の皆様にもご参加いただきたいと考えております。これまで会員同士の交流機会が総会や賀詞交歓会などに限られていたことを解消するための試みですので、ふるってご参加ください。

開催日時、会場、費用等につきましては、開催日の概ね1か月前に横須賀水交会ホームページ(当面の活動予定欄)に掲載いたしますので、参加を希望される会員はお手数ですがお葉書にて事務局までお申し込みください。

なお準備の都合もありますので、申込み及び変更につきましては開催日の10日前までに完了して頂くようお願いいたします。

葉書宛先…〒237-0046

横須賀市西逸見町1丁目無番地

横須賀地方総監部付

横須賀水交会事務局宛

記載事項…参加される方の氏名、

会員番号、連絡先

### 2 横須賀水交会 全会員用

メンバーリングストの新設について

さてこの度、かねてよりご要望の多かった、「メールによる会員の皆様への 行事等のご案内」を開始することとなりました。つきましては、メンバーリングストへの登録を希望される方は次の要領でご登録をお願いいたします。

#### ① 登録用アドレス

memberlist\_regist@suikokukai.sakura.ne.jp

#### ② 登録内容

(例)

(1) 氏名

海尾 護

(2) 会員番号

0174183

(3) メールアドレス

umiomamoru@gmail.com

※登録アドレスは、お一人につき1アドレスとさせていただきます。何かご不明な点がございましたら、登録アドレスへご一報ください。以上、よろしくお願いたします

3 記念艦三笠 廣瀬武夫中佐

生誕150年記念企画展

昨年、靖国神社遊就館で鉛筆艦船画の企画展を開催した菅野泰紀氏(すがのひろゆき・横須賀水交會会員)は、今年は、会場を記念艦三笠に移し、廣瀬神社、廣瀬武夫顕彰会、帝国海軍軍艦慰霊顕彰会の特別協賛を得て、「廣瀬武夫中佐 生誕150年記念企画展」を開催します。

海上自衛隊横須賀地方総監部、横須賀市、水交會等の多くの団体等の協力も得られているようです。

展示される作品は、日露戦争で戦った三笠や、廣瀬中佐に所縁の比叡、朝日を始め、主に横須賀関東に関わりを持つ帝国海軍の艦船及び横須賀在籍とする

海上自衛隊の艦船等の鉛筆画です。

期間 4月28日(土)～

6月3日(日)

観覧時間 9時～17時30分

展示会場 記念艦三笠内

5番砲室・7番砲室

観覧 記念艦三笠の観覧料が必要

必要です。

また、鉛筆艦船画の展示だけではなく、次の関連イベントも開催されます。

① 鉛筆艦船画作者のギャラリートーク

② 海の防人のお話を聴く会

旧海軍や戦後海上自衛隊で活躍された方の貴重な体験談をお聞きする会

③ 廣瀬中佐生誕150周年記念講演会(元海上幕僚長

古庄 幸一氏の講演があります。)

詳細については、次の連絡先にお願いたします。

TEL / FAX : 06-6731-2906

URL : <https://artstudio-fu.com/>

Art Studio 楓 -Fu-

(石井 順 幹事 記)



記念艦三笠 廣瀬武夫中佐 生誕150年記念企画展

平成 4.28(土) - 6.3(日)

観覧時間: 9時～17時30分  
 観覧料: 記念艦三笠: 大人200円、小100円、幼児50円  
 艦内: 大人100円、小50円、幼児25円  
 観覧料は、別途「三笠」乗船料を申し込まなければなりません。  
 三笠乗船料: 大人1000円、小500円、幼児250円  
 三笠乗船料は、別途「三笠」乗船料を申し込まなければなりません。  
 三笠乗船料: 大人1000円、小500円、幼児250円  
 三笠乗船料は、別途「三笠」乗船料を申し込まなければなりません。

叙勲受章者(秋の叙勲)

次の会員の方が叙勲を受けられました。(敬称略)

瑞宝中綬章 田村 力

瑞宝小綬章 土井 克彦

信兼 旭男

(本多 一雄 事務局局長 記)

新(編)入会員

(29年11月～30年1月)

次の方々横須賀水交會に新たに入会されました。(敬称略)

松田 宏之(舞教(曹候2)) 遠藤

栄二郎(部内幹候88) 小松永 秀一

(幹候35) 鈴木 久美子(有志)

井上 典行(横教219) 岡田

利之(横教221) 植松 秀夫(有

志) 井川 知識(幹候55) 天野

高枝(有志) 川口 洋一郎(幹候25)

鈴木 統也(横教(曹候7)) 渋谷

幸次(有志)

(桂 眞彦 幹事 記)

【編集後記】

これから気候も良くなり、第1面の行事予定にありますように、多くの行事が計画されています。積極的な参加及び紙面充実のための積極的な投稿をよろしくお願いたします。また、横須賀水交會会員募集には、個々の勧誘が効果的と考えます。その際、活動の説明に本紙を活用して頂き一人でも多くの方に会員になって頂きますようよろしくお願いたします。

(編集担当 石井)